

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 田中 琴海

1. はじめに

2018年2月26日(日)から3月10日(土)までの約2週間、薬学語学研修としてオーストラリアのニューサウスウェルズ州にあるキングスクリフを訪問したので報告します。

2. 現地研修校



Fig.1

大阪薬科大学から参加した14人でTAFE (Technical And Further Education) NSW North Coast Institute Kings cliff Campus で研修を行いました。TAFEとは州立の職業訓練専門学校であり、そのため幅広い年齢層の学生がいました。薬剤師や看護師といった医療関係のほか、園芸農業、コンピュータ、動物、デザイン関係などのさまざまな職業を目指すコースがあります。ゴールドコースト空港から車15分ほどの場所にあり、多くの学生は車やバスで通学していました。日本と比べ、どのクラスも比較的少人数で授業が行われているようでした。オーストラリア人が多いものの、一度就職した後に海外でも働きたいという意志をもって学んでいる日本人学生もいました。

3. ホームステイ先について



Fig.2

滞在先はニューサウスウェルズ州にある Casuarina という小さな町の中にある、オーストラリア人のホストマザーとフラットメイトが3人と、犬と猫が1匹ずついる家庭でした。フラットメイトはレストランで働いているフィリピン人が2人と、キャンベラ出身の学生で、それぞれの出身地が違うためか英語の訛りも全く異なっており、家の中でフィリピン語が飛び交うこともあるとても面白い環境でした。オーストラリアではペットを飼っている家庭がほとんどで、どの家庭のペットもよくしつけされているなどという印象を受けました。家では、私が一番年下ということもあり、常に気にかけてくれてゆっくと話しかけてくれるため少しずつ会話ができるようになりました。

4. 授業内容について

研修校では、主に英語の授業と薬学の授業を受けました。英語の授業では会話をしたり、単語をゲーム形式で学んだりするほか、オーストラリアの地理や文化などについても学びました。薬学の授業では、オーストラリアの保険制度や法律について授業を受け、後日薬局訪問を行い、日本の薬局との違いを見つけていながら学びました。そのほか、オーストラリアの先住民族であるアボリジニの方に伝統についてのお話を聞かせていただき、薬として活用されている植物についても教わりました。また、現地の小学校にお邪魔させていただき、あやとりや折り紙、寿司といった日本の文化を、子供たちと遊びながら紹介しました。



Fig.3

5. おわりに

私にとって今回の研修は初めての海外研修だったこともあり、不安や心配なことが多くありました。しかし、ホストファミリーが温かく迎え入れてくれ、たくさん話しかけてくれたため、充実した2週間を送ることができました。この研修を通してうまく話せなくても自分の言いたいことを言おうとして、身振りなどでなんとか伝えることができるようになり、語学学習への意欲も高まりました。今回の貴重な経験を活かして、これからも将来に向けて努力していきたいと思います。